

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	トルコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてトルコリラ建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビード	トルコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	トルコリラ建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# Navio トルコ債券ファンド



第48期（決算日：2016年4月18日）  
 第49期（決算日：2016年5月18日）  
 第50期（決算日：2016年6月20日）  
 第51期（決算日：2016年7月19日）  
 第52期（決算日：2016年8月18日）  
 第53期（決算日：2016年9月20日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「Navio トルコ債券ファンド」は、去る9月20日に第53期の決算を行いましたので、法令に基づいて第48期～第53期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号  
 URL:<http://www.am.mufug.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034  
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## Navio トルコ債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

## マザーファンドのご報告

◇トルコ債券マザーファンド	14
---------------	----

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) J P モルガン G B I - E M トルコ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率			
	円	円	円	円	円	%	%	百万円
24期(2014年4月18日)	10,520		50		250.45	9.8	95.4	354
25期(2014年5月19日)	10,816		50		258.15	3.1	96.1	354
26期(2014年6月18日)	10,771		50		259.13	0.4	95.2	354
27期(2014年7月18日)	10,848		50		265.30	2.4	94.3	359
28期(2014年8月18日)	10,570		50	△ 2.1	256.05	△ 3.5	96.2	352
29期(2014年9月18日)	11,008		50	△ 4.6	268.74	5.0	96.0	367
30期(2014年10月20日)	10,809		50	△ 1.4	266.24	△ 0.9	95.9	360
31期(2014年11月18日)	12,121		50	△ 12.6	301.03	13.1	96.6	399
32期(2014年12月18日)	11,657		50	△ 3.4	289.59	△ 3.8	93.1	386
33期(2015年1月19日)	12,157		50	△ 4.7	306.20	5.7	95.9	402
34期(2015年2月18日)	11,549		50	△ 4.6	290.48	△ 5.1	97.2	383
35期(2015年3月18日)	10,707		50	△ 6.9	272.42	△ 6.2	96.6	359
36期(2015年4月20日)	10,022		50	△ 5.9	254.94	△ 6.4	97.5	334
37期(2015年5月18日)	10,494		50	△ 5.2	270.08	5.9	96.1	355
38期(2015年6月18日)	10,005		50	△ 4.2	259.34	△ 4.0	95.4	340
39期(2015年7月21日)	10,323		50	△ 3.7	269.89	4.1	94.6	354
40期(2015年8月18日)	9,483		50	△ 7.7	251.05	△ 7.0	95.1	323
41期(2015年9月18日)	8,446		50	△ 10.4	225.37	△ 10.2	94.4	288
42期(2015年10月19日)	8,962		50	△ 6.7	238.36	5.8	96.8	307
43期(2015年11月18日)	9,426		50	△ 5.7	253.06	6.2	97.3	322
44期(2015年12月18日)	8,929		50	△ 4.7	242.09	△ 4.3	95.5	306
45期(2016年1月18日)	8,135		50	△ 8.3	221.58	△ 8.5	94.8	280
46期(2016年2月18日)	8,233		50	△ 1.8	227.73	2.8	96.8	284
47期(2016年3月18日)	8,629		50	△ 5.4	239.03	5.0	96.7	298
48期(2016年4月18日)	8,578		50	△ 0.0	240.93	0.8	96.5	297
49期(2016年5月18日)	8,099		50	△ 5.0	228.14	△ 5.3	95.5	283
50期(2016年6月20日)	8,089		50	△ 0.5	226.69	△ 0.6	95.3	282
51期(2016年7月19日)	7,985		50	△ 0.7	228.88	1.0	95.4	276
52期(2016年8月18日)	7,672		50	△ 3.3	221.75	△ 3.1	96.1	266
53期(2016年9月20日)	7,680		50	△ 0.8	222.62	0.4	94.8	265

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モルガン G B I - E M トルコ (円ベース) は、J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) のサブインデックスです。

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) とは、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) J P モ ル ガ ン G B I - E M トルコ (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第48期	(期首) 2016年3月18日	円 8,629	% -	239.03	% -	% 96.7	% -
	3月末	8,832	2.4	244.29	2.2	96.3	-
	(期末) 2016年4月18日	8,628	△0.0	240.93	0.8	96.5	-
第49期	(期首) 2016年4月18日	8,578	-	240.93	-	96.5	-
	4月末	8,883	3.6	250.02	3.8	96.3	-
	(期末) 2016年5月18日	8,149	△5.0	228.14	△5.3	95.5	-
第50期	(期首) 2016年5月18日	8,099	-	228.14	-	95.5	-
	5月末	8,361	3.2	235.63	3.3	96.3	-
	(期末) 2016年6月20日	8,139	0.5	226.69	△0.6	95.3	-
第51期	(期首) 2016年6月20日	8,089	-	226.69	-	95.3	-
	6月末	8,150	0.8	230.20	1.6	95.3	-
	(期末) 2016年7月19日	8,035	△0.7	228.88	1.0	95.4	-
第52期	(期首) 2016年7月19日	7,985	-	228.88	-	95.4	-
	7月末	7,755	△2.9	223.12	△2.5	96.6	-
	(期末) 2016年8月18日	7,722	△3.3	221.75	△3.1	96.1	-
第53期	(期首) 2016年8月18日	7,672	-	221.75	-	96.1	-
	8月末	7,769	1.3	224.27	1.1	95.8	-
	(期末) 2016年9月20日	7,730	0.8	222.62	0.4	94.8	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

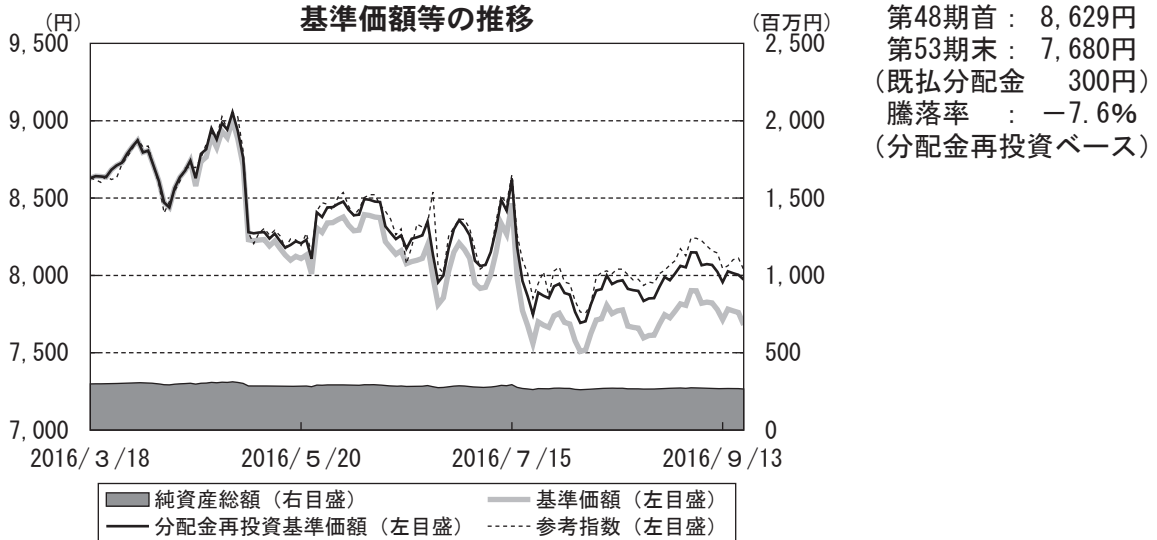
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.6% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

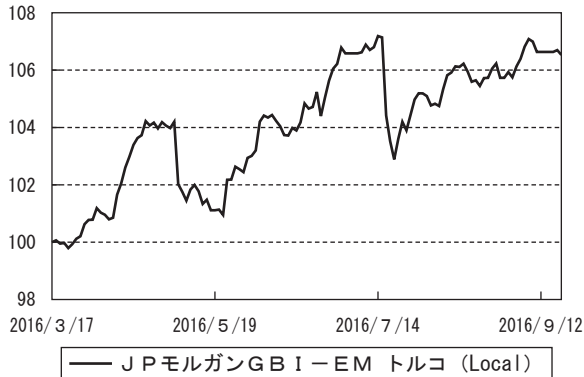
### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収入やトルコの金利が低下(債券価格は上昇)したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	トルコリラが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

債券市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・トルコの債券市場では、金利は低下しました。原油や鉄鉱石などの資源価格が底打ちの兆しを見せるなか世界的な景気後退懸念が和らぎ、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、トルコなどの新興国債券は全般的に買われ金利は低下しました。なお、2016年7月中旬には、トルコ軍の一部勢力によるクーデター未遂を受けて、債券は金利が急上昇する局面もありました。クーデターの試みは失敗に終わったものの、政治リスクの高まりが嫌気され、一時的に同国からの資金退避の動きが広がりました。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

・トルコリラは対円で下落しました。日銀の追加緩和観測の後退が円高要因となったことに加えて、前述の政治リスクに対する警戒感の高まりなどを受けてトルコリラは対円で下落基調で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<N a v i o トルコ債券ファンド>

- ・トルコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じてトルコリラ建ての債券に実質的な投資をしました。

<トルコ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ7.0%の下落となりました。

- ・トルコリラ建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性を勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、作成期首から参考指数比中立とした後、日米欧を中心とした先進各国における金融緩和長期化や中国の景気減速懸念の後退といった良好な外部環境などを背景に資金流入が見込めるなか、トルコ国内における金融政策の正常化に伴う金利低下を予想して2016年7月半ばに参考指数比中立から長めに変更しました。その直後、トルコ軍の一部勢力によるクーデター未遂事件を受けた政治リスクの高まりから金利は上昇圧力を受けやすい展開となったため、デュレーションを参考指数比中立に変更しました。結果として、デュレーションを参考指数比長めにコントロールしていた期間においてトルコの金利が上昇したことが、参考指数比マイナスに影響しました。
- ・債券の利子収入やトルコの金利が低下したことが基準価額にプラスに寄与した一方、トルコリラが対円で下落したことなどから基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2016年3月18日）

最終利回り	9.8%
直接利回り	9.2%
デュレーション	3.8年

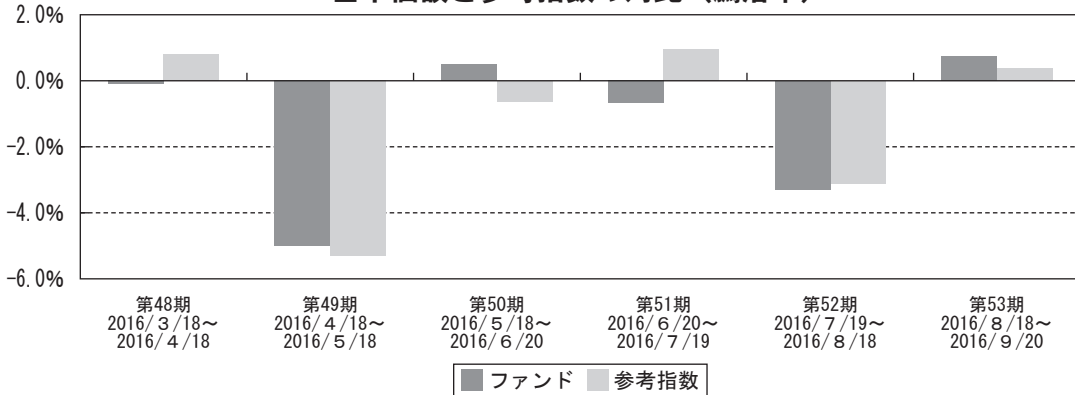
作成期末（2016年9月20日）

最終利回り	8.9%
直接利回り	8.8%
デュレーション	3.6年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第48期～第53期：2016/3/19～2016/9/20)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はJPモルガンGBI-EMトルコ（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.580%	0.614%	0.614%	0.622%	0.648%	0.647%
当期の収益	50	50	50	47	48	50
当期の収益以外	—	—	—	2	1	—
翌期繰越分配対象額	4,402	4,403	4,410	4,407	4,406	4,409

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

<N a v i o トルコ債券ファンド>

◎今後の運用方針

- ・トルコ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<トルコ債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・トルコの最大の輸出先である欧州における景気低迷継続のほか、中国の経済成長が鈍化するなか、世界景気の先行きに対する懸念は継続するものとみています。
- ・トルコにおいては、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景に個人消費は堅調な伸びを見せており、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、相対的に底堅い経済成長を維持するものと考えます。
- ・また、トルコは、欧州、中東、アジアなどの中間地点に位置するなど、貿易中継地としての立地に恵まれているほか、人口構成が若く、内需のさらなる拡大にも期待が持てることなどから、今後の成長期待を背景とした海外からの投資拡大がトルコリラの下支えになると予想します。
- ・ただし、インフレや経常赤字拡大といったファンダメンタルズの懸念が続いていることに加え、中東情勢をはじめとした地政学リスクの高まりや政治リスクの高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

(種別構成)

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

(デュレーション)

- ・トルコの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年3月19日～2016年9月20日)

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(28)	(0.341)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(28)	(0.341)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	11	0.127	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(10)	(0.121)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	69	0.831	
作成期中の平均基準価額は、8,291円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年3月19日～2016年9月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第48期～第53期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
トルコ債券マザーファンド	千口 8,066	千円 8,606	千口 19,645	千円 21,145

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年3月19日～2016年9月20日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;N a v i o トルコ債券ファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;トルコ債券マザーファンド&gt;

区 分	第48期～第53期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5	百万円 —	% —	百万円 18	百万円 18	% 100.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2016年9月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第47期末		第53期末	
	口 数		口 数	評 価 額
トルコ債券マザーファンド	千口 263,622		千口 252,043	千円 264,771

## ○投資信託財産の構成

(2016年9月20日現在)

項 目	第53期末	
	評 価 額	比 率
トルコ債券マザーファンド	千円 264,771	% 99.0
コール・ローン等、その他	2,685	1.0
投資信託財産総額	267,456	100.0

(注) トルコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(264,025千円)の投資信託財産総額(266,530千円)に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1トルコリラ=34.25円			
---------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
	2016年4月18日現在	2016年5月18日現在	2016年6月20日現在	2016年7月19日現在	2016年8月18日現在	2016年9月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	299,191,635	285,455,734	284,675,916	279,121,387	268,890,457	267,456,872
コール・ローン等	1,045,943	1,036,336	1,038,616	950,030	1,018,109	936,119
トルコ債券マザーファンド(評価額)	296,395,121	282,666,406	281,894,107	275,535,702	266,180,392	264,771,783
未収入金	1,750,571	1,752,992	1,743,193	2,635,655	1,691,956	1,748,970
(B) 負債	2,091,180	2,108,322	2,113,644	2,947,036	2,048,737	2,069,912
未払収益分配金	1,731,813	1,749,330	1,746,621	1,729,422	1,739,076	1,727,792
未払解約金	—	14,934	—	900,666	—	—
未払信託報酬	358,218	342,955	365,850	315,935	308,672	341,030
未払利息	1	1	1	1	1	1
その他未払費用	1,148	1,102	1,172	1,012	988	1,089
(C) 純資産総額(A-B)	297,100,455	283,347,412	282,562,272	276,174,351	266,841,720	265,386,960
元本	346,362,760	349,866,179	349,324,393	345,884,540	347,815,343	345,558,502
次期繰越損益金	△ 49,262,305	△ 66,518,767	△ 66,762,121	△ 69,710,189	△ 80,973,623	△ 80,171,542
(D) 受益権総口数	346,362,760口	349,866,179口	349,324,393口	345,884,540口	347,815,343口	345,558,502口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,578円	8,099円	8,089円	7,985円	7,672円	7,680円

## ○損益の状況

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1	△ 37	△ 33	△ 29	△ 21	△ 26
支払利息	△ 1	△ 37	△ 33	△ 29	△ 21	△ 26
(B) 有価証券売買損益	325,936	△ 14,526,283	1,762,720	△ 1,561,034	△ 8,657,967	2,344,954
売買益	342,276	5,475	1,789,159	151,919	96,093	2,441,057
売買損	△ 16,340	△ 14,531,758	△ 26,439	△ 1,712,953	△ 8,754,060	△ 96,103
(C) 信託報酬等	△ 359,366	△ 344,057	△ 367,022	△ 316,947	△ 309,660	△ 342,119
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 33,431	△ 14,870,377	1,395,665	△ 1,878,010	△ 8,967,648	2,002,809
(E) 前期繰越損益金	△ 54,549,388	△ 56,293,132	△ 72,686,094	△ 71,899,951	△ 74,785,686	△ 84,796,640
(F) 追加信託差損益金	7,052,327	6,394,072	6,274,929	5,797,194	4,518,787	4,350,081
(配当等相当額)	( 40,110,588)	( 41,697,893)	( 41,822,584)	( 42,054,496)	( 43,964,834)	( 43,871,926)
(売買損益相当額)	(△ 33,058,261)	(△ 35,303,821)	(△ 35,547,655)	(△ 36,257,302)	(△ 39,446,047)	(△ 39,521,845)
(G) 計 (D + E + F)	△ 47,530,492	△ 64,769,437	△ 65,015,500	△ 67,980,767	△ 79,234,547	△ 78,443,750
(H) 収益分配金	△ 1,731,813	△ 1,749,330	△ 1,746,621	△ 1,729,422	△ 1,739,076	△ 1,727,792
次期繰越損益金 (G + H)	△ 49,262,305	△ 66,518,767	△ 66,762,121	△ 69,710,189	△ 80,973,623	△ 80,171,542
追加信託差損益金	7,052,327	6,394,072	6,274,929	5,797,194	4,518,787	4,350,081
(配当等相当額)	( 40,112,736)	( 41,711,759)	( 41,824,253)	( 42,058,740)	( 43,976,985)	( 43,873,515)
(売買損益相当額)	(△ 33,060,409)	(△ 35,317,687)	(△ 35,549,324)	(△ 36,261,546)	(△ 39,458,198)	(△ 39,523,434)
分配準備積立金	112,359,661	112,366,957	112,233,071	110,385,082	109,271,612	108,491,399
繰越損益金	△168,674,293	△185,279,796	△185,270,121	△185,892,465	△194,764,022	△193,013,022

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ①作成期首(前作成期末)元本額 345,826,001円  
 作成期中追加設定元本額 12,766,415円  
 作成期中一部解約元本額 13,033,914円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7680円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は80,171,542円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2016年3月19日～ 2016年4月18日	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日
費用控除後の配当等収益額	1,939,259円	1,799,523円	1,962,175円	1,628,766円	1,680,668円	1,836,872円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	40,112,736円	41,711,759円	41,824,253円	42,058,740円	43,976,985円	43,873,515円
分配準備積立金額	112,152,215円	112,316,764円	112,017,517円	110,485,738円	109,330,020円	108,382,319円
当ファンドの分配対象収益額	154,204,210円	155,828,046円	155,803,945円	154,173,244円	154,987,673円	154,092,706円
1万円当たり収益分配対象額	4,452円	4,453円	4,460円	4,457円	4,456円	4,459円
1万円当たり分配金額	50円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	1,731,813円	1,749,330円	1,746,621円	1,729,422円	1,739,076円	1,727,792円

## ○分配金のお知らせ

	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2016年9月20日現在)

## &lt;トルコ債券マザーファンド&gt;

下記は、トルコ債券マザーファンド全体(252,043千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第53期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千トルコリラ	千トルコリラ	千円	%	%	%	%	%
トルコ	7,350	7,347	251,659	95.0	—	61.1	20.1	13.8
合 計	7,350	7,347	251,659	95.0	—	61.1	20.1	13.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第53期末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
トルコ		%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円		
	国債証券	10.4	TURKEY GOVT 240320	940	982	33,634	2024/3/20
		10.5	TURKEY GOVT 200115	1,490	1,550	53,106	2020/1/15
		6.3	TURKEY GOVT 180214	300	291	9,994	2018/2/14
		7.1	TURKEY GOVT 230308	520	458	15,711	2023/3/8
		8.3	TURKEY GOVT 180620	430	426	14,617	2018/6/20
		8.8	TURKEY GOVT 230927	1,430	1,378	47,206	2023/9/27
		9.0	TURKEY GOVT 170308	350	352	12,057	2017/3/8
		9.5	TURKEY GOVT 220112	1,890	1,907	65,329	2022/1/12
合 計						251,659	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## トルコ債券マザーファンド

## 《第4期》決算日2016年3月18日

[計算期間：2015年3月19日～2016年3月18日]

「トルコ債券マザーファンド」は、3月18日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	トルコリラ建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、トルコの国債、政府機関債、政府保証債ならびにトルコリラ建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	トルコリラ建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) J P モルガン G B I - E M トルコ (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2012年4月10日	10,000	—	206.37	—	—	—	299
1期(2013年3月18日)	13,175	31.8	277.72	34.6	98.4	—	386
2期(2014年3月18日)	10,897	△17.3	228.17	△17.8	96.6	—	327
3期(2015年3月18日)	12,951	18.8	272.42	19.4	96.8	—	358
4期(2016年3月18日)	11,292	△12.8	239.03	△12.3	96.9	—	297

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モルガン G B I - E M トルコ (円ベース) は、J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) のサブインデックスです。

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) とは、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) J P モ ー ル ガ ン G B I - E M ト ル コ (円ベース)		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2015年 3月18日	円 12,951	% —	272.42	% —	96.8	—
3月末	12,930	△ 0.2	271.76	△ 0.2	96.7	—
4月末	12,117	△ 6.4	256.31	△ 5.9	96.8	—
5月末	12,784	△ 1.3	270.26	△ 0.8	95.9	—
6月末	12,440	△ 3.9	264.61	△ 2.9	95.3	—
7月末	12,226	△ 5.6	258.90	△ 5.0	94.7	—
8月末	11,206	△13.5	236.25	△13.3	94.6	—
9月末	10,450	△19.3	220.10	△19.2	94.2	—
10月末	11,444	△11.6	242.12	△11.1	96.9	—
11月末	11,595	△10.5	245.54	△ 9.9	97.1	—
12月末	11,383	△12.1	240.25	△11.8	95.3	—
2016年 1月末	11,234	△13.3	232.80	△14.5	96.8	—
2月末	10,659	△17.7	227.67	△16.4	96.8	—
(期 末) 2016年 3月18日	11,292	△12.8	239.03	△12.3	96.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ12.8%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

・トルコの金利は上昇（債券価格は下落）しました。中国をはじめとした新興国の景気減速懸念から世界的に株式市場が軟調に推移するなか、投資家のリスク回避姿勢が高まったことから、新興国債券は全般的に売られ金利は上昇しました。また、トルコ国内において断続的にテロ事件が発生していることや、2015年11月にはトルコ国軍がシリアの国境付近でロシア軍戦闘機を撃墜するなどの事件が発生するなど、地政学的リスクの高まりが懸念されたことなども、金利の上昇要因となりました。

## ◎為替市況

- ・トルコリラは対円で下落（円高）しました。
- ・世界的に株式市場が軟調に推移するなか、投資家のリスク回避傾向が高まったことなどが円高要因となったほか、前述の地政学的リスクに対する警戒感の高まりなどがトルコリラ安要因となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・トルコリラ建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性を勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は参考指数比中立を維持しました。
- ・債券の利子収入は基準価額にプラス要因となったものの、トルコの金利が上昇したことや、トルコリラが対円で下落したことなどはマイナス要因となりました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・トルコの最大の輸出先である欧州における景気低迷継続のほか、中国の経済成長が鈍化する中、世界景気の先行きに対する懸念は継続するものとみています。
- ・トルコにおいては、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景に個人消費は堅調な伸びを見せており、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、相対的に底堅い経済成長を維持するものと考えます。
- ・また、トルコは、欧州、中東、アジアなどの中間地点に位置するなど、貿易中継地としての立地に恵まれているほか、人口構成が若く、内需のさらなる拡大にも期待が持てることなどから、今後の成長期待を背景とした海外からの投資拡大がトルコリラの下支えになると予想します。
- ・ただし、インフレや経常赤字拡大といったファンダメンタルズの懸念が続いていることに加え、中東情勢をはじめとした地政学リスクの高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

## ◎今後の運用方針

## （組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

## （種別構成）

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

## （デュレーション）

- ・トルコの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 32	% 0.270	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(31)	(0.267)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	32	0.270	
期中の平均基準価額は、11,705円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年3月19日～2016年3月18日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千トルコリラ	千トルコリラ
外国	トルコ	国債証券	1,151	839

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年3月19日～2016年3月18日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 5	百万円 —	% —	百万円 21	百万円 3	% 14.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年3月18日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコリラ 7,540	千トルコリラ 7,382	千円 288,446	% 96.9	% —	% 59.9	% 24.2	% 12.8
合 計	7,540	7,382	288,446	96.9	—	59.9	24.2	12.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 務 年 月 日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
トルコ		%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円		
	国債証券	10.4	870	899	35,129	2024/3/20	
		10.5	1,400	1,431	55,920	2020/1/15	
		6.3	300	281	10,981	2018/2/14	
		7.1	520	449	17,555	2023/3/8	
		8.3	430	416	16,255	2018/6/20	
		8.8	1,430	1,350	52,777	2023/9/27	
		9.0	700	692	27,055	2017/3/8	
		9.5	1,890	1,862	72,770	2022/1/12	
合 計					288,446		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 288,446	% 96.3
コール・ローン等、その他	11,006	3.7
投資信託財産総額	299,452	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(296,988千円)の投資信託財産総額(299,452千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 トルコリラ=39.07円			
----------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	299,452,417
コール・ローン等	4,676,396
公社債(評価額)	288,446,968
未収利息	5,613,648
前払費用	715,405
(B) 負債	1,777,069
未払解約金	1,777,069
(C) 純資産総額(A-B)	297,675,348
元本	263,622,338
次期繰越損益金	34,053,010
(D) 受益権総口数	263,622,338口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,292円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 276,642,029円  
 期中追加設定元本額 15,224,277円  
 期中一部解約元本額 28,243,968円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1292円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

Navio トルコ債券ファンド 263,622,338円

## 【お知らせ】

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)

## ○損益の状況 (2015年3月19日～2016年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	26,576,337
受取利息	26,576,337
(B) 有価証券売買損益	△71,315,365
売買益	1,016,896
売買損	△72,332,261
(C) 保管費用等	△ 861,695
(D) 当期損益金(A+B+C)	△45,600,723
(E) 前期繰越損益金	81,643,400
(F) 追加信託差損益金	2,860,427
(G) 解約差損益金	△ 4,850,094
(H) 計(D+E+F+G)	34,053,010
次期繰越損益金(H)	34,053,010

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。